

1人1台タブレット端末を活用し、気づきを自覚し、共有し、関連付けて気づきの質を高める学習

第1学年

たのしい あき いっぱい

こんな子どもたちの姿が生まれました!

- 自分の思いや願いをもって「あき」をじっくり観察し、夏との違いや特徴を見付けることができました。
- 見つけた「あき」を仲間と共有し、新たな気づきが生まれたり、様々な気づきを関連付けたりすることができました。

タブレット端末の活用による効果



草の中にコオロギがかくれていたよ。触ってみたいな。跳ぶところを写したいな。

木の上の方にかわいい実を見つけたよ。届かないけれど、写真にとって、みんなに教えたいな。

ぼくが見つけた「あき」の中で、特にこの写真のこの部分を大きくしてみんなに伝えたいな。

伝えたい「あき」を撮影し、それを見つめ、さらに新たな気づきを生む。

- ・動きのあるものや手の届きにくいものなど見つけた「あき」の特徴が伝わる部分を考えて撮影できるようにする。
- ・撮影した「あき」の画像を拡大しながら見つめることで、新たな気づきにつなげるようにする。

一番伝えたい「あき」を選びながら、気づきの自覚ができるようにする。

- ・撮影したいくつかの「あき」を比べたり、「一番」を決めたりしながら、夏の様子との違いや秋の特徴を見付けることができるようにする。

教師の指導のポイント

- 見つけた「あき」を撮影し、それをすぐに見つめ直したり、前に撮影したものとは比べたりすることで、さらに「あき」を見付ける意欲が高まり、身近な自然の他の季節との違いや特徴を見付けることができるようにする。

協働学習支援ツールの活用による効果



同じ「あき」を見つけたよ。特に、ここを見てほしいな。



協働学習支援ツールで仲間の「あき」を提示し、気づきを共有できるようにする。

- ・大型画面に、一人一人の伝えたい「あき」を一斉に提示し、仲間の気づきを把握できるようにする。
- ・着目したい部分の画像を拡大しながら説明することで、仲間の気づきを明確に捉えることができるようにする。

教師の指導のポイント

- 学習支援ツールで仲間の「あき」を提示することで、仲間の気づきを共有し、自分の気づきとの共通点や相違点を見付けることができるようにする。